



オーナーさん一家と稲刈り

周囲に人家が見えず田んぼだけが広がる風景はよこね田んぼならではのもの。雑然とした空間の中での日常生活を離れ、自然の中に身を置くことは究極の“癒し”です。

よこね田んぼ保全委員会と協働し、“つなぐ棚田遺産”を文字どおり後世につないでいくための取組みが活動の中心になっています。

NPO法人里山ベーすでは、収穫した「はざかけ天日干しのよこね米」や酒米たかね錦を醸した「純米酒よこね」の販売も行っています。これらの特産品は飯田市のふるさと納税返礼品にもなっています。また、オーナーさんのサポートや、あまたの星が美しく輝く冬にその地形を活かしたイベント“篝火の夜”の企画運営を行うなど、棚田の魅力を広くお伝えする事業に取り組んでいます。

よこね田んぼ



純米酒



いつでもおいでてや！
待っとなるに

山林資源の活用は、山が本来持つ機能を維持するためにも必要です。放置すれば「支障木」になるだけ。里山ベーすでは、主にナラや桜、クルミなどの広葉樹を「スウェーデントーチ」や薪、きのこの「ほだ木」として活用する活動も行っています。



園児と駒打ち

豊かな山林資源

里山をもっと楽しく！

NPO法人里山ベーすは、昔と変わらない穏やかな時が流れ、自然を満喫できる南信州の飯田市千代にあります。日本の棚田百選「よこね田んぼ」をはじめとする自然豊かな里山の魅力を発信し、訪れる人々に対して、その情報提供、体験の実施、特産品の販売等に関する事業を行い、広く中山間地の活性化に寄与することを目的に活動しています。

いるだけでほっとできる場所、それが里山、そんな里山の魅力を体感しにお越しください。スタッフ一同、心よりお待ちしております！

果樹栽培、市田柿づくりが盛んな千代ですが、ほかにもこんなものが・・・

よこね田んぼ脇で育てた“原木なめこ”は 天竜峡や千代インターそばの「下村広場」などで販売。いつも“超”人気です。

なめこ



信州の伝統野菜に選定されている「千代ねぎ」はとても柔らかく、飯田名物のねぎだれにも最適。里山ベーすでは、「千代ねぎの会」が栽培し委託製造している“ねぎだれ”の販売のお手伝いもしています。

千代の特産品

農家民泊

千代地区はいち早く農家民泊を始めた地域としても知られています。

里山ベーすでは、その活動拠点として民家を民泊施設として活用し、主に中高生の体験旅行を受け入れています。

よこね田んぼでの作業や、溪流釣り・沢歩きなどに訪れた際の宿として、また“里山暮らしのプチ体験ステイ”にもお奨めです。



ファームステイでねぎ畑の草取り作業中



千代にはよこね田んぼのほかにも魅力ある観光スポットがあふれていますので、里山ベーすでは、これらと千代地区での宿泊や食事、特産品販売などと結びつけ、千代をまるごと楽しんでいただく取組みを進めています。

南信州を代表する秘境「万古溪谷」は、いくつもの瀑布とエメラルドグリーン淵が連続し、“沢歩き”の醍醐味が満喫できます。

万古溪谷

親水公園

米川上流の「野池親水公園」は、清流脇の松林の中に整備され、キャンプや川遊びを楽しむファミリーらに人気のスポットです。

万古溪谷、親水公園 etc.